

◇工法名	ボンフロンACドライーSR工法(新築)				
◇適用素地	打放しコンクリート、普通プレキャストコンクリート板、スレート板、ガラス繊維補強セメント板				
◇使用材料	下塗	ボンガード			16.0 ℓ/缶
	中塗	ボンフロンACドライ中塗	主剤	10.0 kg	11.0 kg/セット
		ボンフロンシンナー	硬化剤	1.0 kg	
	上塗	ボンフロンAC#1100SRクリヤー (ボンフロンAC#1500SRカラークリヤー)	主剤	12.5 kg	15.0 kg/セット
ボンフロンシンナー		硬化剤	2.5 kg		
			シンナー		16.0 ℓ/缶

工程	使用材料	調合 主剤:硬化剤	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗 回数	塗装間隔(23°C)		施工方法	
						工程内	工程間		
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。								
1	下塗	ボンガード	:	既調合	0.10 ~ 0.20	1 ~ 2	指触	16h以上	刷毛 ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロンACドライ中塗 主剤 / 硬化剤 = 10 / 1	10 : 1	専用シンナー 10%以内	0.12 ~ 0.17	1	-	16h以上	エアレス
3	上塗	ボンフロンAC#1100SRクリヤー (#1500SRカラークリヤー) 主剤 / 硬化剤 = 12.5 / 2.5	12.5 : 2.5	専用シンナー 0 ~ 30	0.10 ~ 0.13	1 ~ 2	指触	-	刷毛 ローラー エアレス
合 計						3 ~ 5			

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛、ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80
各種吹付けガン	50~70

注2) 塗装工事における留意点については「塗装工事における留意点」を参照ください。

- ※ (強・弱溶剤型塗料共通)
- ※ (素地:無機系素地)

注3) ACドライ工法の注意事項

- ◇ ボンガードは乾燥すると塗装した面と未塗装部の区別が付きにくくなりますので、未塗装部を避けるために目地等を目安にしてブロック毎に塗装して下さい。
- ◇ ボンガードは一度に厚塗りすることなく、規定の塗布量を確実に塗布して下さい。
(ボンガードは浸透型ですので追いかけ塗りが可能です。)
- ◇ ボンフロンACドライ中塗は、塗布量と塗間隔を厳守して下さい。塗布量が少ない場合、塗間隔が短い場合は濡れ色になります。また、ローラー、ハケ塗りは避けて下さい。
- ◇ ボンフロンAC#1500SRカラークリヤーは膜厚で色調が変わります。一度に厚塗りすることなく、色相を確認しながら塗装して下さい。

注4) 上塗の「艶消し範囲」

	艶有り	7分艶	5分艶	3分艶	艶消し
ボンフロンAC#1100クリアー	○	×	○	×	○
ボンフロンAC#1100SR クリアー	○	×	○	×	○
ボンフロンAC#1500 カラークリアー	○	×	○	×	○
ボンフロンAC#1500SR カラークリアー	○	×	○	×	○

※艶消し、3分艶、5分艶、のローラー塗装は、光沢ムラが生じる為、避けてください。